

目 次

はじめに

第 I 部 縮減社会日本の空間制度における管轄と制御

第 1 章	人口減少下にある日本の管轄と制御に関する課題 ——基礎自治体に対するアンケートに見る重点課題	内海麻利	2
1	日本の都市政策における管轄と制御		2
2	日本の都市政策の方向性と管轄にかかわる課題		4
3	人口減少下における日本の「管轄」にかかわる問題把握		12
4	管轄と制御にかかわる日本の問題と重点課題		17
5	日本のアンケート結果と本書の検討内容		22
第 2 章	空間制度の管轄と制御の実態 ——都市計画関連制度の再編に向けて	小泉秀樹	25
1	前提——空間的管轄と機能的管轄		25
2	都市計画法制度の解釈		27
3	都市再生以来の特措法を起点とした「都市計画」関連の制度改正の展開		32
4	都市再生以来の制度改正は何を指向？		40
5	積み残した課題、新たな課題に対応した都市計画法制度の課題		42

第3章	都市空間管理法制における管轄と制御	
	——空き家対策を素材として……………	角松生史 47
1	問題の所在——管轄に対する制御と制御における管轄	47
2	自主条例による対処——法律に基づく自治体の権限の限界と自治体の全権 限性	51
3	自主条例による対応の限界	54
4	空き家規制における「点」と「面」——近隣外部性と計画適合性、単体 規定と集団規定	59
5	都道府県と市区町村——複数の地方公共団体の間の制御に関する管轄の配 分	68
第4章	農山村の空間制度における管轄と制御	
	——農村型地域運営組織（農村 RMO）を中心に……………	高村学人 74
1	農山村における縮減社会の構想	74
2	法的側面から見た農村 RMO と持続的低密度社会	75
3	京都府南丹市美山町の地域特性と地域振興会	80
4	鶴ヶ岡地区における振興会の役割と農用地の保全	84
5	大野地区における地域振興会の役割と農用地の保全	89
6	担い手の視点——集落・小学校区を越境する主体	93
7	まとめに代えて——負財化と機能的管轄に留まる法律の限界	97
第5章	自治体における空間の管轄と制御	
	——地域公共交通の「線」的制御と自治体による「面」の管轄 ……………	金井利之 100
1	空間の分類	100
2	「面」と「線」の管轄と制御	101
3	道路という「線」の管轄と制御	107
4	「線」から「網」「面」へ——地域公共交通の管轄・制御を素材に	113
5	自治体による「面」的調整	124

第Ⅱ部 仏・米・独・蘭における空間制度の管轄と制御

- 第6章 フランス都市政策の一貫性**
——「管轄」にかかわる日本の課題への対応策の視点から
.....内海麻利 128
- 1 フランスの都市計画の変化と一貫性 128
 - 2 フランスの都市政策の「一貫性」を強化する制度改革の内容 131
 - 3 日本の課題を視点としたフランスの実態把握 141
 - 4 「管轄」にかかわる日本の課題とフランスの一貫性 152
- 第7章 現代アメリカ都市計画の発展——成長と衰退への対応**
.....小泉秀樹 159
- 1 近代アメリカ都市計画の特徴 159
 - 2 成長都市圏におけるサステナビリティ確保に向けた政策・諸活動の展開 165
 - 3 縮退都市におけるプレイスベーストなプランニングの展開 169
 - 4 現代アメリカのプランニング・システム変貌の特徴 187
- 第8章 ドイツの放置不動産問題をめぐる管轄と制御**
——減築・被覆解除命令（建設法典179条）を中心に
.....角松生史 196
- 1 放置的不動産とは 196
 - 2 減築・被覆解除命令 199
 - 3 「土地法」に関する立法権限——建設計画法と建設規制法 203
 - 4 所有権者の第一次的「管轄」との関係 214
 - 5 今後の展望及び日本との比較 219

第9章	オランダ空間制度における管轄と制御 ——空間整序法から環供法への移行	金井利之	223
1	オランダと日本		223
2	管轄と制御の展開		223
3	環供法における管轄		228
4	環供法における制御		239
5	環供法の施行		248

あとがき